

大垣市留守家庭児童教室運営委員会 会議録

日 時	令和 6 年 1 月 31 日（水）10 時 00 分～11 時 30 分
場 所	大垣市役所 6 階 教育委員会室
次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 教育委員会あいさつ 4 運営委員会委員紹介 5 議事 (1) 大垣市留守家庭児童教室の状況について (2) 大垣市民間放課後児童クラブの状況について (3) 自己評価について (4) 安全計画について (5) その他 6 閉会
出席者（敬称略）【委員 9 名、事務局 6 名 計 15 名】	
・大垣市留守家庭児童教室運営委員会委員 光井 恵子、平野 宏司、垣添 忠厚、山本 悦子、井上 直美、 河瀬 実浩、荒川 裕子、今西 勇人、三輪 千加子	
・事務局 平松 善幸（教育委員会事務局長）、林 昭義（社会教育スポーツ課長）、 宮崎 友秀（同課参事）、田島 善之（同課主幹）、 小木曾 一哉（同課主任）、大橋 基弘（同課主事）	
傍聴者（敬称略）【2 名】 繁澤 多美、中田 俊哉	
事務局	1 開会（略）※議事以外の司会進行
会長	2 会長あいさつ（略）
事務局長	3 教育委員会あいさつ（略）
事務局	4 運営委員会委員紹介 ・委員の紹介

事務局	<p>5 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議録作成に係る録音について ・ 会議録の市ホームページへの掲載について ・ 会長に議事進行の依頼（大垣市留守家庭児童教室の設置等に関する条例施行規則第 11 条第 4 項）
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席委員数及び審議会成立の報告（大垣市留守家庭児童教室の設置等に関する条例施行規則第 12 条第 2 項） ・ 傍聴者の報告※傍聴者 2 名
会長	『議事(1) 大垣市留守家庭児童教室の状況について』事務局から説明をお願いします。
事務局	※ 『議事(1) 大垣市留守家庭児童教室の状況について』(資料 P 2～P 8) を説明
会長	議事(1)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。
会長	『議事(2) 大垣市民間放課後児童クラブの状況について』委員から説明をお願いします。
委員	※『議事(2) 大垣市民間放課後児童クラブの状況について』(資料 P 9～P 10) を説明
会長	議事(2)について、委員から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。
副会長	議事(3)の自己評価について、自己評価は市の自己評価か、どろんこ子どもクラブの自己評価か。
事務局	市とどろんこ子どもクラブにおいて同じ評価基準の自己評価としている。11 ページにある表の左側に市、右側にどろんこ子どもクラブの自己評価を明記している。

副会長	それぞれの課題感についてありましたら、議事(3)の自己評価の中で教えていただきたい。
会長	『議事(3) 自己評価について』事務局及び委員から説明をお願いします。
事務局	※『議事(3) 自己評価について』（資料P11～P12）を説明
委員	※『議事(3) 自己評価について』（資料P11～P12）を説明
会長	議事(3)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。
委員	点検項目の内、C評価の項目についてご説明をいただいたが、実際はB評価の部分が重要である。B評価になった項目について、実際の現場ではなにが問題であると感じているのか、上手くいかない時に相談できる場所はあるのか等、現場の生の声について教えていただきたい。
事務局	現場との相談体制について、問題発生時には、各教室に配置している携帯電話を使い事務局と連絡を取り合っている。また、統括指導員を1名配置し、各教室の巡回訪問、指導員の業務に関する相談、児童についての情報共有を行っている。事務局といたしましては、年に1度、指導員との面談の機会を設けているほか、指導員から面談の申し出があった場合は、その都度対応を行っている。
副会長	指導員が不足している現状等の課題はこの自己評価表からはなかなか分かりづらい部分ではあるが、常に現場と情報共有を行う姿勢は素晴らしいと思う。
委員	12 ページ共通評価基準Ⅲ-1-(4)「子どもや保護者等が意見を述べやすい体制が確保されている。」が大垣市はB評価となっ

	<p>ているが、アンケートのような仕組みがあれば、保護者が伝えにくいことも拾うことが出来るのではないか。</p>
委員	<p>どろんこ子どもクラブでは、父母会を年数回開いており、保護者の意見の聴取や、連絡事項の説明等を行っている。また、その際にアンケートを実施している。</p>
事務局	<p>ホームページで各課の窓口を設けており、市民の方々からのご意見や質問にお答えしている。</p>
委員	<p>市では、以前定員超過の場合は、他の校区への入室を案内することをしていたと思うが現在はどうか。</p>
事務局	<p>夏季休業期間の入室に関しては、保護者の送迎による入室であるため、平成 29 年度の時に他校区への入室を行っていたが、それ以降に関しては、学校と調整して、教室を借りたり、夏季休業期間臨時指導員の雇用を行う等して、それぞれの学校での受け入れを行っている。</p>
委員	<p>大垣市とどろんこ子どもクラブとの連携はあるのか。</p>
委員	<p>同じ大垣市の留守家庭として、情報の提供等お世話になっている。</p>
事務局	<p>市としては、対象年齢を 1 年生から 4 年生までとしているため、5・6 年生に関しては、どろんこ子どもクラブの方を案内させていただいている。また、事務的な部分として、県や国からの通知等は逐一情報共有をさせていただいている。</p>
会長	<p>『議事(4) 安全計画について』事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>※『議事(4) 安全計画について』（資料 P 13）を説明</p>

会長	議事(4)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。
副会長	上石津の送迎について、現在行っていると思いますが、上石津学園の場合も同様に行うのか。
事務局	上石津学園内に留守家庭児童教室を設置するため、登校は各自スクールバスを利用し、下校は入室児童については、保護者の送迎となる。
副会長	どろんこ子どもクラブにおいても送迎業務があると思うが、安全計画に車両に関する項目がある方がよいのではないか。
委員	どろんこ子どもクラブにおいては、施設及び設備の安全点検を毎月行い、通学路等の危険箇所の確認を行っている。また指導員の研修については、認定資格の取得に向けて、来年度受講予定者が2名いる。
委員	指導員が減少し、利用人数が増えていく中で、異年齢集団の利点を生かし、上級生本人に対する安全教育だけでなく、上級生から下級生への安全教育というような互いに学び合うといった内容を計画に組み込んでいくとよい。また資料 20 ページ(3)職員への研修について、発達障がいに関する研修とあるが、単発の研修だけではなく、普段から学校の通級の先生たちとの情報交流の場等、せっかく学校の中にあるので活用してけるとよい。
事務局	今の意見は、17 ページについてのことか。
委員	学校との連携等、人材資源の活用については、安全計画内の研修の項目について、組み込めるとよいと思うが、表記の仕方については、再考が必要である。

会長	表記の仕方等については、事務局のほうで本運営委員会での意見を取り入れ、作成していただきたい。
委員	学校の立場としての意見として、指導員の先生たちは本当によくやってくれていると思います。様々な子が在籍する留守家庭児童教室で一人ひとりの特徴を捉えようと努力されている。学校との連携については、特に低学年の児童に関しては、担任や特別支援の先生らと頻繁に情報の交流を行っている。安全面の連携についても、命を守る訓練等の情報の共有を今後も必要であると感じた。
会長	『議事(5) その他について』何かありますでしょうか。
委員	大垣市の令和6年度の入室申請の締め切り及び決定はいつになるのか。
事務局	令和6年度の入室申請の締め切りは2月26日(月)、決定は3月13日(水)を予定している。
委員	不登校児の保護者より相談があり、受け入れをしてあげたいが定員いっぱいのため、何か他に紹介できる施設等ありましたら教えていただきたい。
事務局	後日、調べて情報提供させていただきたい。
委員	宿題の時間やお昼寝の時間等、直接伝えづらい保護者の方もいると思うので、先ほどの議事(3)にもお伝えしたようにアンケートのような仕組みがあるといいなと思った。
会長	それぞれの立場からの、貴重なご意見をいただきまして有難うございました。以上をもって全ての議事を終了します。この後の進行を事務局にお返しする。

事務局	<p>7 閉会</p> <p>委員の皆様には、長時間にわたりご審議をいただき、感謝しています。委員の皆様から頂戴した貴重なご意見をもとに、今後もより良い教室運営に取り組んでいきます。</p>
-----	---